

## 生活援助従事者研修（通学）カリキュラム

科目及び研修時間は、次の表の通りです。（合計59時間）

科目名	内容	特徴
1. 職務の理解 (2時間)	①多様なサービスの理解 (1時間)	介護保険制度の概要と利用の流れを理解し、介護保険サービスの概要と種類を知る。
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解 (1時間)	居宅介護における仕事内容の理解と居宅サービスの種類・特徴・利用者について知る。
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (6時間)	①人権と尊厳を支える介護 (3.5時間)	利用者が有する権利を学ぶ。また利用者の権利と尊厳を守るための基本的な考え方・方法・利用者との関わりについて学ぶ。
	②自立に向けた介護 (2.5時間)	介護における自立や自立支援に関わる介護の役割を学ぶ。また介護予防の考え方について学ぶ。
3. 介護の基本 (4時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携 (0.5時間)	介護環境の特徴を学び、介護の専門性とチームにおける役割を理解する。
	②介護職の職業倫理 (1.5時間)	職業倫理を学び、介護職に関わる倫理綱領を理解する。
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント (1時間)	事故のリスクと安全管理について理解し、事故発生の可能性について考える。緊急時の基本的対応を理解する。
	④介護職の安全 (1時間)	介護職が気を付ける健康管理・食中毒・手洗いの基本を学び、ストレスマネジメントの重要性を理解する。
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3時間)	①介護保険制度 (1.5時間)	介護保険制度創設の背景を理解してうえで、制度の目的・動向・基本的な仕組みを理解する。
	②医療との連携とリハビリテーション (0.5時間)	在宅における看護職の役割・連携について理解し、訪問リハビリについて学ぶ。
	③障害福祉制度およびその他制度 (1時間)	障害福祉制度の基本的な仕組みと権利を守る制度について学ぶ。
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション (3時間)	コミュニケーションの意義・目的・役割を知り、コミュニケーションの技法を学ぶ。家族が抱きやすい感情と介護職が持つべき視点を理解し、事例を通じコミュニケーションの実際を理解する。
	②介護におけるチームのコミュニケーション (3時間)	職員間のコミュニケーションの有効性・重要性を理解するとともに、記録の書き方、報告・連絡・相談の意義と方法を学び、会議の意義と目的を理解する。

6. 老化と認知症の理解 (9時間)	①老化に伴うところとからだの変化と日常生活 (1時間)	老化によるところとからだの変化の特徴を理解し、日常生活に及ぼす影響を理解する。
	②高齢者と健康 (2時間)	高齢者に多くみられる病気の特徴について理解する。
	③認知症を取り巻く状況 (1.5時間)	認知症ケアの理念、基本的な視点について理解する。
	④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (2.5時間)	認証の定義、物忘れとの違い、せん妄の症状を理解し、認知症の原因疾患とその病態・治療法について理解する。
	⑤認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (1.5時間)	認知症の症状と認知症による生活の変化を理解し、認知症の人への対応とケアの仕方について理解する。
	⑥家族への支援 (0.5時間)	家族介護者の介護の大変さを理解し、レスパイトケアの重要性を学ぶ。
7. 障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解 (1時間)	障害の概念と障害福祉の基本理念を学ぶ。
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1.5時間)	障害の種類や特性を学び、障害に応じた対処方法や支援上の留意点を理解する。
	③家族の心理、かかわり支援の理解 (0.5時間)	家族にはどのような関わりや支援が求められるかを理解し、家族が障害を受け入れる心理を学ぶ。
8. ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ (7.5時間)	①介護の基本的な考え方 (1.5時間)	介護の基本的な考え方を学び、法的根拠に基づく介護の在り方を学ぶ。
	②介護に関するところのしくみの基礎的理解 (2時間)	介護職が知っておきたい感情・思考・意欲の基礎知識を学び、自己概念や生きがいについて理解し、老化や障害を受け入れるプロセスと介護職の役割を理解する。
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (4時間)	生命の維持するしくみを理解し、ところとからだのつながりについて理解する。
8. ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ (14.5時間)	④生活と家事 (3時間)	利用者が日常生活を続けていくための支援とは何かを理解し、支援が生活の質や健康の維持に役立つことを理解する。
	⑤快適な居住環境整備と介護 (2時間)	快適で安全な居住空間の重要性を学び、イメージできるようになる。
	⑥移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (4時間)	移動・移乗の基礎知識を身につけ、意義と目的を理解する。利用者の自立心や自然な動きを妨げない介助を学ぶ。

8. こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ (14.5時間)	⑦食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2.5時間)	咀嚼と嚥下の仕組みを学び、良い食事が日常生活にもたらす効果を理解する。
8. こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ (14.5時間)	⑧睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2時間)	生活リズムと睡眠のメカニズムを理解し、良質の眠りがもたらすメリットと不眠がもたらすデメリットについて学ぶ。
	⑨死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 (1時間)	死に向かう人のこころとからだの変化について理解し、終末期ケアにおける介護職の役割を学ぶ。
8. こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ (2時間)	⑩介護課程の基礎的理解 (2時間)	介護課程の目的と意義を理解し、介護課程の根拠ある重要性を学ぶ。
9. 振り返り (2時間)	①振り返り (1時間)	科目ごとに振り返り、総復習を行う。
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修 (1時間)	継続的に学ぶこと、研修修了後における継続的な研修について学ぶ。